



石城郡本年の壯丁 特殊な者では身長五尺九寸余 体重廿二貫余短尺は四尺三寸

石城郡本年の壯丁

特殊な者では身長五尺九寸余 体重廿二貫余短尺は四尺三寸

石城郡の壯丁検査は十二日の四尺三寸八分九貫六百八内郷村寄留者九十三名を以て十日が珍らしいもの、優で終了する十一日迄の検査ある。

知事の激賞を受く 平青訓所の成績

査閲は折柄の雨を衝く 野外戦闘の教練まで

既報小柳知事の平青年によつて訓練所査閲は十一日午前八時教官藤田中尉の指揮によつて受けた出席四十余名の青訓生は最初平商業学校雨天体操場に於て各個教練の後折柄の雨を衝いて野外戦闘教練を行ひ勇まし

訓練所査閲は十一日午前八時教官藤田中尉の指揮によつて受けた出席四十余名の青訓生は最初平商業学校雨天体操場に於て各個教練の後折柄の雨を衝いて野外戦闘教練を行ひ勇まし

訓練所査閲は十一日午前八時教官藤田中尉の指揮によつて受けた出席四十余名の青訓生は最初平商業学校雨天体操場に於て各個教練の後折柄の雨を衝いて野外戦闘教練を行ひ勇まし

訓練所査閲は十一日午前八時教官藤田中尉の指揮によつて受けた出席四十余名の青訓生は最初平商業学校雨天体操場に於て各個教練の後折柄の雨を衝いて野外戦闘教練を行ひ勇まし

訓練所査閲は十一日午前八時教官藤田中尉の指揮によつて受けた出席四十余名の青訓生は最初平商業学校雨天体操場に於て各個教練の後折柄の雨を衝いて野外戦闘教練を行ひ勇まし

訓練所査閲は十一日午前八時教官藤田中尉の指揮によつて受けた出席四十余名の青訓生は最初平商業学校雨天体操場に於て各個教練の後折柄の雨を衝いて野外戦闘教練を行ひ勇まし

十一日から製炭希望の申込に對し指導員を出張懇切に教授する筈で濱通り各坊部に右通牒を發した。

平消防と炭礦視察

平消防設備及び入山炭礦見學の爲め本縣巡查養成所生二十名は十二日中村所長の小名濱港内漂砂埋没の浸漬引率で來郡の筈であるが十日歸郷の豫定である。

現場に足袋と草鞋 二死体未だ判らず 小田炭礦の慘死者舊坑へ押流されたか或は落盤の下か

石城郡好間村の小田炭礦は九名の決死隊によつて當時出水後の復舊を危ぶまれたの作業場を探したが現場に共排水にも若干の成績を残すのみで夫れらしい姿が見止められて愈々復舊本工皆目見當らず尙ほ

奥へ進んで見たが全然発見されなかつたので激し来る十五日から愈々着工することになつた右工事

同隧道 長三百卅間 鯨岡家の計

岩量七 千五百十坪を除去するもので工期三百七十日丁度來年七月末竣工の大工事であつて一日百余名の所用人夫を豫定されてお

のみにしらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

是れ等の慘死者に對する會に百五十名の外本山坑の社の態度は健康保険の率に 同作業 を合せて四百名の復業を見せ一日百噸から百卅噸を出炭し何れ廿日

小柳知事の 小名濱視察

濱三郡町村長會は十一日午前十時から平第三小學校に開催小柳知事の臨席ありて地方長官會議の傳達並に訓示の後協議に移り午後四時閉會した尙小柳知事は當日小名濱港内漂砂埋没の浸漬に就て現場視察の後上京す

日額を基準としての 三百六十日分其他法定の最 高限度を以て甲慰する模 樣を豫定されてるので鐵骨一 であつて従業員約六百の 善名もなく割合平穩に落着 後處置は二更代の新坑採 炭であらうと見られてゐる

十五日から着工の 傾城トンネル工事 工期一年間の大工事である 地方失業者は相當救はれ様

常盤線湯本、緩驛間の傾城面から二百廿間を進む中心 トンネルは土木業者から萬を基點として雨水の浸透す 年帳場と云はれる修理反覆る山勢の盆地最厚百尺最薄 を重ねてゐるが隧道内をレ 五十尺より隧道上部に五尺 一捲にした昨年の補強工 程を築して

岩量七 千五百十坪を 除去するもので工期三百七 十日丁度來年七月末竣工の 大工事であつて一日百余名 の所用人夫を豫定されてお

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

父交蘭榮藏(美氏)は自宅収 葉郡廣野村に於て十日午前 十時頃突然腦充血にて倒れ たが同日午後一時遂に逝去 した氏は現廣野村消防組頭 で往年同村長をも勉めた村 内の名望家で一般から其の 死を惜まれてゐる。

第五章 絕對的 繼續主義 責任分 担主義 單位主義

大内 民 恵

かゝる教員の素質の調査 目的を以て國民學校 方法、しかも其方法は古今 東西の學理學說教授法中 其教父母が是はと信する方 法でも結構なものであります 寺小屋式でも、ヘルバト 式でもドルトンプラン、ゲ ーリーシステム、ゲイマン シヤフツ、インテリ式何で も差支ないものであります たゞ一應監督局に届出ます 其了解を得ておけばよいの でありませぬ。こゝに超然と して其全能力を發揮する自 由を與へられるのであります、こゝに超然と

運命に關する一大問題であ り其成績の如何によつて其 の教父母一生の功過を國家 より問はるゝ一大責任なの でありませぬから、それこそ 決定的覺悟を以て其作職計 畫を立て、人格の相互交渉 たる教育活動にはいらない ければならぬので、こゝに勇 士出陣の首途となるのであ りませぬ。これより二年三年 六年と進んで本料卒業とな り一部は學校に止まつて中 等科に入り一部は退學して 各家庭の家事に従事するが 郷里を離れて徒弟小店員等 となるのであります。

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

俳句漫談 (三)

滿壽莊主人

夫れから初めて俳句をよま うとするときに非常になつて かしこ考へられるのは、一切 れ字の事でありませぬ、が これとても何もそんななむ つかしく考へなくともよい

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

のひらみ馬のしとする 枕もと

農業の心

田の草取りと土用の灌水 (二)

某篤農家の談

最終田草取りがきまつたらば二三日灌水せず土壌の緊密を計ることがよい但し乾過ぎてはならぬ。除草は成るべく晴天のしかも日中に行ふのが土壌に温熱を導く非常の効果がある殊に山間部の水田に於て然りである。

除草器を使用することは勞力經濟上得策ではあるが稻の根邊を充分に攪拌し得ないから浮根を切斷する作用が不完全であり又根邊の雜草を除去することも充分でない上に器械使用のみでは土壌が漸次根邊に集積して分けつ作用に故障を來たす恐れがあるから注意しなればならぬ。夫れから次は土用の灌水であるが此時期は稻の生育旺盛で分けつの盛んな時であるから水を要する事の多いのは勿論だが地温の高低は其の生育に著しい差異を生ずる故に地温の上昇を計つて分けつを促進させることに心掛ねばならぬ。土用中の午前は一吋位の淺水とし午後は二三寸の深水を以て地温の上昇を圖るのがよいそれから一寸云つて置くが土用中の深水は二化の虫の噴害を軽減することが出来るけれども反對に過乾すると除草困難且つ生育を不良ならしめるから注意が肝要である。

スペイン G.H.N 元 詰
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
¥ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(電話) 西村屋薬舗 (三番)

印刷物の御注文は
會川活版所
平町四丁目

淋病 梅毒 兒科 外科
市原醫院
平町
電話 四一四番

驚異的の効果
婦人薬
坐薬 美神丸
内服薬 美神湯
婦人病に悩む人々に
一度の實驗を勧む
代理店 **山野邊藥局**
平町五丁目

安價に 迅速に 町噂に 親切に
遠藤活版所
電話七四三番

樽詰生ビール並に
タンク入ソーダ水
平町のソーダフアンテン
コップ一杯 十五錢
ソーダ水 各種 十五錢

一般科 **川井科診療所**
醫學士 川井重之
女醫 川井安子
磐城平町南町六五
電話 七二二番

價之低く 質之高く
金屋
平町五丁目



面白く お安く
尼忠
平新田町
電話八六五番

指輪 名刺 20枚
アイスクリーム 名刺 20枚
レツキス 名刺 20枚
ラヒターエフカ
番〇二六話電・前驛平

入院應需 自炊の便あり
明雲堂眼科醫院
平驛前 電話六六九番



よろこばいませう
うちりませうよ
中島寫眞館
平町字田町

夏物御案内
僅かの水で非常によく冷やせる
夏の衛生に必要なる
眞夏にも涼味 たつぷりな
可愛いお子様の運動と健康に
夏の御座敷には
岩谷冷蔵庫
代理店 **本丸ほん**
平町三三丁目
電話三五九番

表代城磐 酒銘
味経 美 油醬
山崎合名社
電話十番

豆と晒あん
● 北海産のよいお豆
● 純小豆製のよい晒あん
お電話なり下されば多少に拘らずお届けいたします。
田巻隆一商店
平町紺屋町十三。電話九〇八